

目 録 1

図面の説明

図1 原告が製造、販売する無臭化培養槽の全体図

(a) は側断面図であり、(b) は平面図である。

図2 図1で示した有底ケース1の構成を示す缶体図

(a) は平面図であり、(b) は正面図であり、(c) は側面図であり、(d) は図(a)に示した空気流量計が有底ケースに取り付けられている部分の詳細を示す図であり、

(e) は図(b)に示した金具が有底ケースに取り付けられている部分の詳細を示す図である。

図3 図1で示した有底ケース1に取り付けの管体の構成を示す配管図

(a) は平面図であり、(b) は図(a)中に示したA-A矢示図であり、(c) は図(a)中に示したB-B矢示図であり、(d) は図(a)に示したC-C矢示図であり、(e) は図(a)に示したドレン管の詳細を示す図である。

符号の説明

- | | |
|-----|------------|
| 1 | 有底ケース |
| 2 | 蓋体 |
| 3 | モータ |
| 4 | モータ台 |
| 5 | 駆動軸 |
| 5 a | フランジカップリング |
| 5 b | 上部シャフト |
| 5 c | 固定カップリング |
| 5 d | 下部シャフト |
| 6 | 上部フランジユニット |
| 7 | 下部フランジユニット |
| 8 | 円筒部材 |
| 9 a | 接続部材 |
| 9 b | 接続部材 |
| 10 | ベレットケージ |
| 11 | 送気管 |
| 12 | 散気管 |
| 13 | 金具 |
| 14 | フランジ |

- 15 空気流量計
- 16 チャッキ弁
- 17 ストップバルブ
- 18 流入管
- 19 上部排水管
- 20 下部排水管
- 21 電動弁
- 22 排出口
- 23 ドレン管
- 24 操作盤

イ号装置の内容

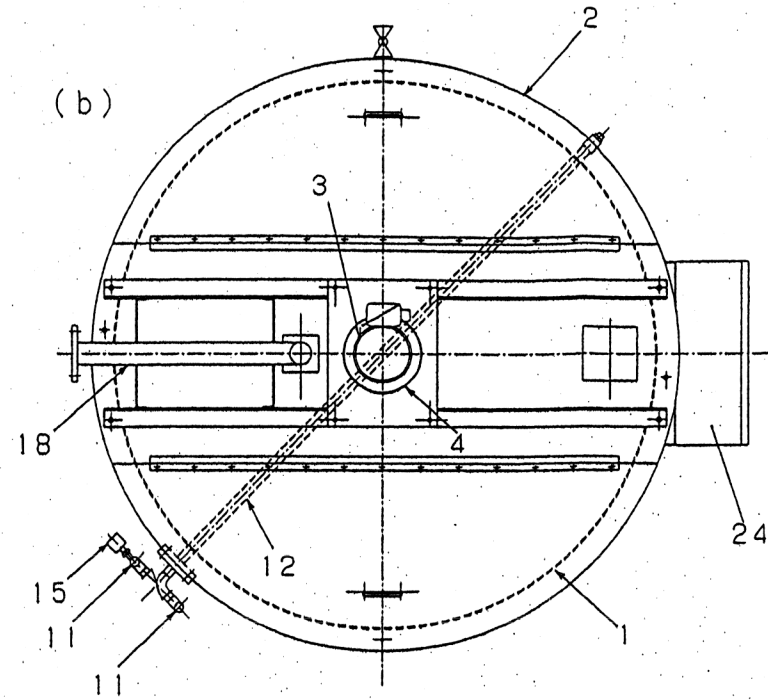
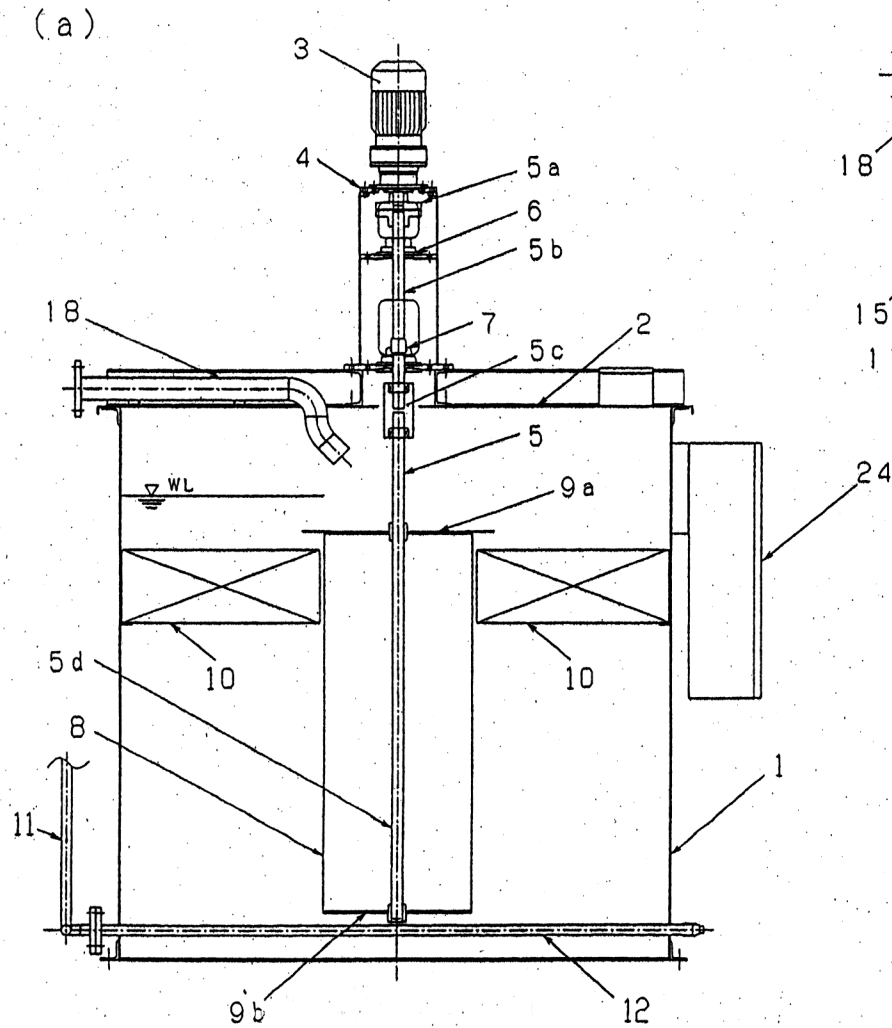
図1ないし図3に示すように、

- a. 略円筒状の有底ケース1を備えている。
- b. 有底ケース1の上部開口を塞ぐ蓋体2を備えている。
- c. 蓋体2の上部には、モータ3を載置した略円筒形状に形成のモータ台4が設けられている。
- d. モータ3の下方には、このモータ3が発生させる駆動力により回転する駆動軸5が接続されている。
- e. 駆動軸5は、モータ3にフランジカップリング5aを介して接続されている上部シャフト5bと、この上部シャフト5bに固定カップリング5cを介して接続されている下部シャフト5dとを含んで構成されている。
- f. モータ台4の内部には、上記フランジカップリング5aを支持する上部フランジユニット6と、下部フランジユニット7とが固定されている。上部シャフト5bは、フランジカップリング5aを介して上部フランジユニット6に支持されるとともに、下部フランジユニット7に支持されるという2箇所の支持を受け、上記回転をぶれることなく行えるようになっている。
- g. 駆動軸5の下部シャフト5dの外周には、この駆動軸5の上記回転に伴なって回転を行う円筒状に形成の円筒部材8が、上下に配された接続部材9a、9bを介して駆動軸5と同軸な状態で取り付けられている。
- h. 上側の接続部材9aは、円盤状の板体に複数の孔を穿設したものである。尚、この円盤状の板体の径は、図1では、円筒部材8の内径と同径とされているが、円筒部材8の外径を超える場合もある。
- i. 下側の接続部材9bは、スポーク状の棒状体数本により構成されている。
- j. 円筒部材8の外周と有底ケース1内周との間であって、有底ケース1の上部に相当する位置には、廃水ないし廃水と汚泥の混合液を接触させ無臭改質処理を行なう

ための、黒ボク土と、火山灰土壌、塩化鉄、珪酸塩、軽石などの吸着剤とを混合してペレット状に形成してなる改質剤が、イ号装置の使用時に収納されるペレットケース10が設けられている。

- k. 円筒部材8の下方には、スリット状に形成の多数の小孔が穿設された散気管12が取り付けられており、この散気管12には、2本の平行なパイプを含んで一連に構成されるものであり、金具13により、有底ケース1の外周に取り付けられた送気管11が、フランジ14を介して接続されている。
- l. 送気管11は、散気管12に空気の供給を行うようになっている。送気管11は、また、散気管12へ送られている空気の供給量を計測するための空気流量計15と、散気管12への空気が逆流するのを防止するためのチャッキ弁16と、散気管12への空気の供給を遮断するためのストップバルブ17とを備えている。
- m. 有底ケース1の上方には、廃水ないし廃水と汚泥の混合液を受け入れるための流入管18が、その先端を有底ケース1の内部に連通させた状態で設けられている。
- n. 有底ケース1の上方には、オーバーフローした廃水ないし廃水と汚泥の混合液を外部に排出するための上部排水管19が、その基端を有底ケース1の内部に連通させた状態で設けられている。有底ケース1の下方には、廃水ないし廃水と汚泥の混合液を外部に排出するための下部排水管20が、その基端を有底ケース1の内部に連通させた状態で設けられている。下部排水管20には、廃水ないし廃水と汚泥の混合液の排出を制御する電動弁21が設けられている。上部排水管19及び下部排水管20は、その先端同士で接続されており、そのいずれかを通してきた廃水ないし廃水と汚泥の混合液は、上記接続された部分の先に設けられた排出口22から排出されるようになっている。
- o. 有底ケース1の下方には、汚泥を外部に排出するためのドレン管23が、その基端を有底ケース1の内部に連通させた状態で設けられている。
- p. 有底ケース1の外周には、無臭化培養槽操作のための操作盤24が取り付けられている。

[図1] 全体図

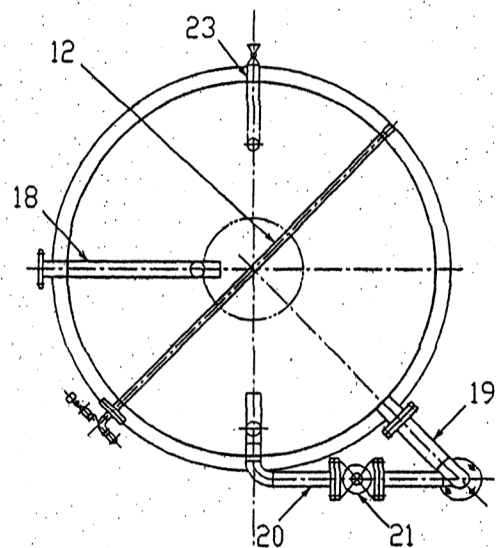


24	操作盤
23	ドレン管
22	排出口
21	電動弁
20	下部排水管
19	上部排水管
18	流入管
17	ストップバルブ
16	チャッキ弁
15	空気流量計
14	フランジ
13	金具
12	散気管
11	送気管
10	ベレットケージ
9b	接続部材
9a	接続部材
8	内筒部材
7	下部フランジユニット
6	上部フランジユニット
5d	下部シャフト
5c	固定カップリング
5b	上部シャフト
5a	フランジカップリング
5	駆動軸
4	モータ台
3	モータ
2	蓋体
1	有底ケース
品番	部 品 名

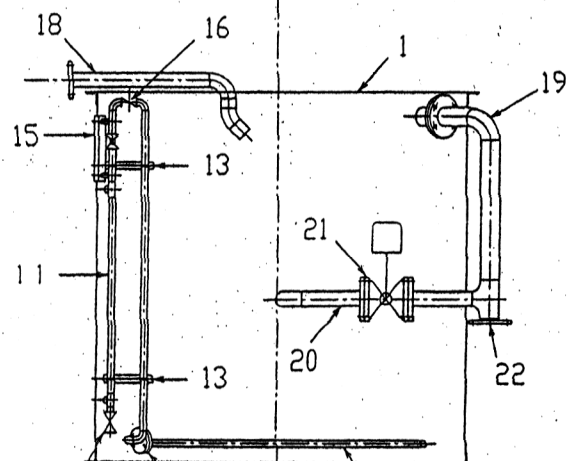
承認	検閲	設計	製図	
日付				図面名称
縮尺				
製作数				全体図

[図2] 缶 体 図

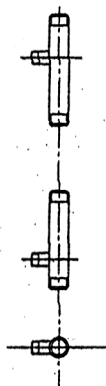
(a)



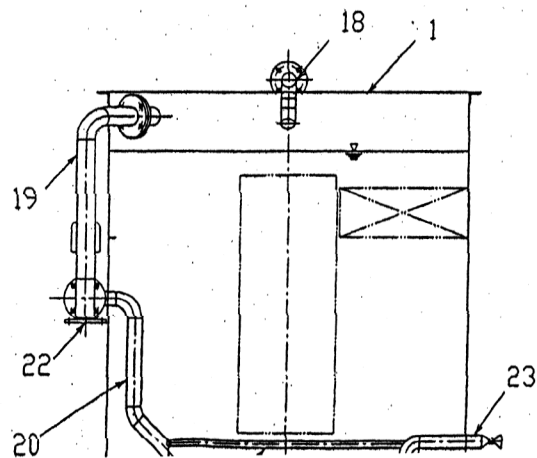
(b)



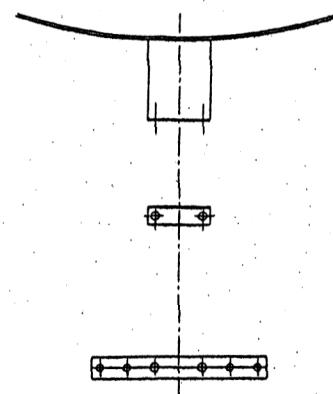
(d)



(c)



(e)

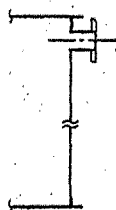


24	操作盤
23	ドレン管
22	排出口
21	電動弁
20	下部排水管
19	上部排水管
18	流入管
17	ストップバルブ
16	チャッキ弁
15	空気流量計
14	フランジ
13	金具
12	散気管
11	送気管
10	ベレットケージ
9b	接続部材
9a	接続部材
8	円筒部材
7	下部フランジユニット
6	上部フランジユニット
5d	下部シャフト
5c	固定カップリング
5b	上部シャフト
5a	フランジカップリング
5	駆動軸
4	モータ右
3	モータ
2	蓋体
1	有底ケース
品番	部 品 名

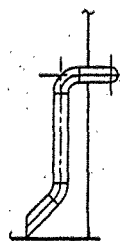
承認	検印	設計	製図

[図3] 配 管 図

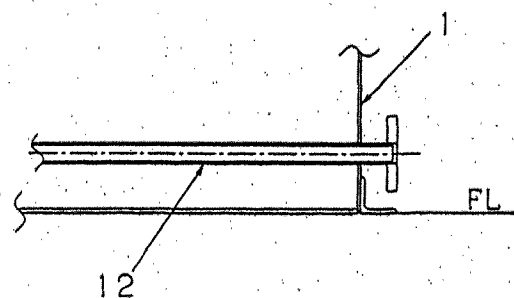
(b)



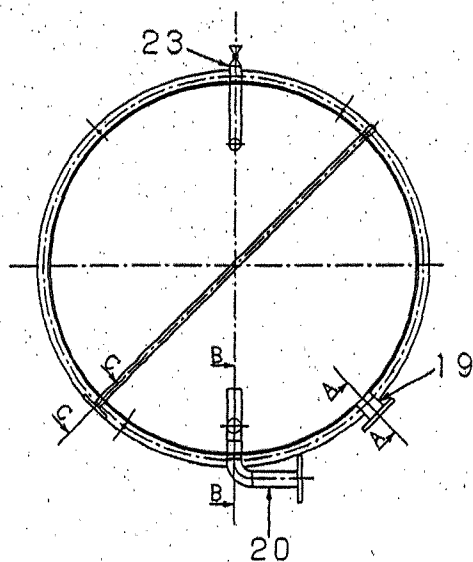
(c)



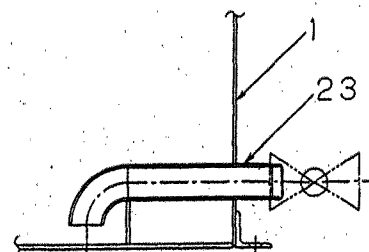
(d)



(a)



(e)



24	操作盤
23	ドレン管
22	排出口
21	電動弁
20	下部排水管
19	上部排水管
18	流入管
17	ストップバルブ
16	チャッキ弁
15	空気流量計
14	フランジ
13	金具
12	軟気管
11	送気管
10	ベレットケージ
9b	接続部材
9a	接続部材
8	円筒部材
7	下部フランジユニット
6	上部フランジユニット
5d	下部シャフト
5c	固定カップリング
5b	上部シャフト
5a	フランジカップリング
5	駆動軸
4	モータ台
3	モータ
2	蓋体
1	有底ケース
品番	部 品 名

承認	検図	設計	製図	図面名
				配 管 図
日付				
縮尺				
製図数				